

土木の2文字を分解すると「十二十八」になることから、11月18日は土木の日と定められています。みなさんに土木の役割や魅力を知ってもらうため、今回は「土木が支える私たちのくらし」意外と知らない土木のあれこれ」をテーマに、県内各地で様々なイベントを行いました。

パネル・模型展

11月4日(日) 会場：とせほ四ヶ町アーケード

土木について分かりやすく紹介するパネル・模型展を、今回初めて佐世保市で開催し、たくさんの方々にご来場いただきました。会場には、土木模型を使った実験コーナーをはじめ、測量機器・ドローンなどの体験コーナーや工業高校の生徒たちによる建設材料を使ったおもちゃ作りコーナー、クイズラリーなどもあり、大人からお子さんまで楽しんでいただきました。



パネル展示



土木模型実験コーナー



測量機器体験コーナー



クイズラリーの様子

土木現場見学会

11月18日(日)

普段は見る事ができない県内の土木工事現場を見学するバスツアーを行いました。長崎市、佐世保市、島原市、諫早市、大村市から出発する5つのコースにたくさんの方々の参加をいただきました。



九州新幹線諫早トンネル



九州新幹線大村車両基地



国道57号森山拡幅

テクノパワー 土木おもしろ体験隊

11月17日(土) 会場：長崎大学文教キャンパス

小学校高学年から中学生を対象に土木に関する実験(建物の振動、液化化、防波堤、コンクリートなど)を体験・学習し、科学への興味や関心を育むイベントを実施しました。また、建設機械の操縦体験コーナーもあり、多くの方々に参加していただきました。



佐世保港内クルーズ

11月18日(日)

佐世保港の港湾土木事業への理解・認識を高めることを目的として、佐世保港内を船の上から見学しました。鯨瀬ターミナルを出港し、浦頭地区の浚渫等の工事現場など様々な港湾施設や艦船を見て回るコース。多くの方々に参加していただきました。



土木遺産モニターツアー

11月18日(日) 島原・対馬地区

島原、対馬の各地区にある歴史的・技術的に価値の高い土木施設(土木遺産)について、観光資源としての活用を検討するため、各地区でモニターツアーを開催しました。

観光名所を土木の視点で案内したり、普段気づかないかかれた場所に存在している迫力ある土木構造物を見学したりしていただき、参加された皆さんからたくさんのご意見をいただきました。



島原城の石垣(島原地区)



姫神山砲台跡(対馬地区)

SABOウォーク

11月18日(日)

砂防施設や災害遺構を見学しながら雲仙普賢岳の噴火災害から復興までの歩みについて紹介するウォーキングイベント「SABOウォーク2018」を島原市水無川周辺で開催しました。

最先端技術のVR(バーチャルリアリティ)体験コーナーや建設機械の操縦体験コーナーもあり、多くの方々に参加していただきました。



砂防事業の説明



水無川2号砂防堰堤